

入学説明会 校長あいさつ

校長の真鍋でございます。

本日は、お忙しいところ、また、まだまだ寒い中、お集まりいただきありがとうございます。期待とご不安、子供たちも保護者の皆様もいろいろお持ちだと思います。子供たちは、5年生つまり4月からの6年生と一緒に交流でレクなどを楽しんでいることと思います。少しでも不安の軽減にもなればと思います。

さっそくですが、私の方からは、この機会に大きく2点お話しさせていただきます。

まず1点目は、学校経営計画についてです。冊子の表紙をめくったところに載せています。学校教育目標は「みんなで伸びる ～トライ&サポート～」です。また、4月から多少変えていく予定です。

今現在、「トライ」ということで、目の前の小さいことでも難しいこと、面倒くさいこと、つらいことにこそ挑戦していく、逃げずに、自分の弱さに負けずに、最後まであきらめずにねばり強く挑戦して、乗り越えて成長していく、そんな子供たちを育てたいと考えています。子供たちに適度に負荷も与えて、乗り越えさせるように授業はもちろん学校の教育活動全体で意図的に計画的に取り組んでいます。負荷を乗り越えて子供たちは成長します。

また、「サポート」ということで、挑戦している子や困っている子を応援したり、お互いに教え合ったりするとともに、逆に「困っているから助けて」、「分からないから教えて」ということが言える、いわゆる援助希求ができる子、助けを求めることができる子を育てていくということです。協働的に学んで「みんなで伸びる」ということを学校教育目標にしています。

2点目です。「連携協力」ということです。お子さんの入学にあたりご不安なことと言えば、例えば、「学校にうまく適応できるか」ということもあろうかと思います。環境が変わってきます。物的な環境も人的な環境も、システムや生活のリズムなどいろんなことが変わります。適応力は、適応すべき場で生活して、がまんしたり自分の感情をコントロールしたりして、ギャップを乗り越える力がついて、身についていくものだと思います。また、けんかをしたりいじめられたりしないかというような心配もあると思います。人間関係のトラブルは必ずあります。これだけの人数が集団生活しています。新1年生だけで100名ぐらい、全校で今645名、4月からはもっと増える予定です。大人でも人間関係のトラブルはあります。ましてや心身ともに未熟な子供たちがこんなに集まって集団生活をすれば、必ず何かあります。ただ、学校は、将来にわたって人間関係のトラブルを解決するための練習の場、時間と考えていただき協力をお願いしたいと思います。

そこで、「連携協力」ということで、教育基本法という日本の教育の根幹となる法律

がありますが、そこに「学校教育」と「家庭教育」について決められています。

まず、第6条に「学校教育」として「学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。」とあります。この中の「教育の目標」については、第2条に5項目挙げられていますが、例えば、知識や教養、豊かな情操と道徳心、健やかな身体のいわゆる知徳体をバランスよく育てることなどが書かれています。

「家庭教育」は第10条に定められています。こう書かれています。「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。」ということです。子供の教育について「第一義的責任者」は、保護者であるということ。「必要な習慣」というのは例えば、あいさつ、食事の仕方やマナー、好き嫌いをなくして食べること、決まりを守ることや早寝早起きなどいっぱいあると思います。「自立心」を育てるためには、過保護や過干渉、過放任とかの極端なかかわり方はよくないんでしょうね。「心身の調和のとれた発達」を図るよう努めるというのは、善悪の判断ができるとか、食事、運動、睡眠などの教育もあるでしょう。

今、家庭教育のことをお話しましたが、これらは、学校でも教育することです。家庭教育と学校教育とは、重なるところがたくさんあるということで、だからこそ、学校教育の役割、家庭教育の役割を分担・協力して、家庭と学校が子育てのパートナーとして保護者の皆様と一緒に子供を育てていきたいということです。親と学校の先生の言うことが違くと、子供は混乱しますし、絶対にいいことにはなりません。

子育てのパートナーとして、「連携協力」をぜひともよろしくお願いいたします。

ということで、ご入学にあたりよくわからないことは遠慮なくお訊きいただきたいと思います。また、入学式までに何かありましたら、いつでもご遠慮なく学校の方にお訊きください。

では、限られた時間ですがよろしくお願いいたします。